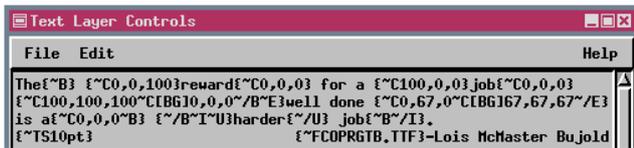


WYSIWYG テキスト編集



WYSIWYG (書式設定コード: オフ)



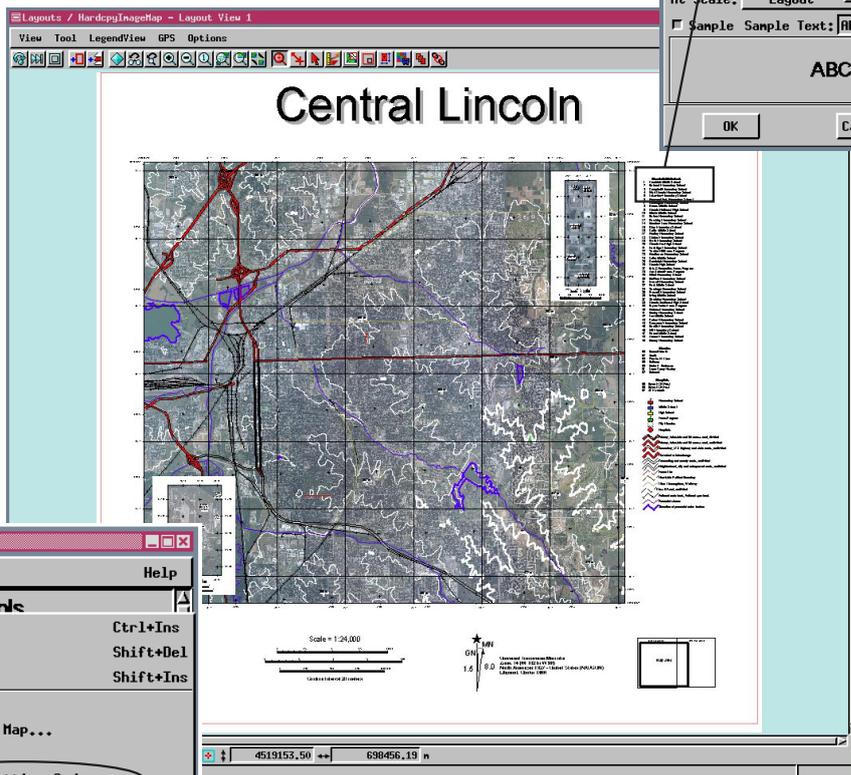
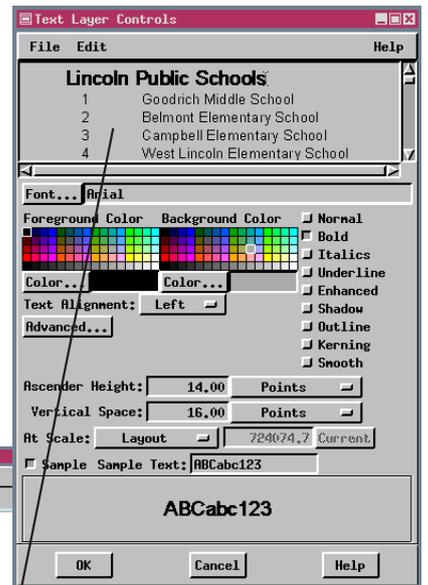
書式設定コード: オン



レイアウト画面

テキストに書式設定コード (以前からサポートされている、単一テキストブロック中にスタイルを混在する手法) が含まれている場合、そのコードは見えずに、テキストはそのコードで定義されたスタイルで表示されます。例えば、タブ設定やスーパーSCRIPT (上付き)、サブSCRIPT (下付き) を定義する書式設定コードもタイプできますが、次に〈テキストレイヤコントロール〉ウィンドウを開いた時はコードは表示されません。しかし、テキストフィールドで右クリックもしくは [編集 (Edit)] メニューを選択し、トグルボタンで書式設定コードを表示するかどうか指定できます。書式設定コードが見えるように選択した場合、割り当てたテキストスタイルや混在しているフォントサイズでは表示されません。フォントは選択したインターフェイスフォントで表示されます。インターフェイスフォントの変更に関する情報はオンライン・リファレンスマニュアルを参照してください ([サポート]>[設定]>[フォント])

〈テキストレイヤコントロール〉ウィンドウには今入力しているテキストが設定したサイズやスタイルで表示されます。テキストブロック内にはサイズやスタイルを混在することができます。テキストブロック全体に対して好きなスタイルやサイズを設定し、テキストをタイプし、違うサイズやスタイルでテキストを強調できます。テキストを変更するには〈テキストレイヤコントロール〉ウィンドウのスタイルボタンやフィールドを使います。この機能を使って本文のテキストと同じテキストレイヤの中で、やや大き目のボールド体で見出しを置くことができます。テキストブロック全体を通してスタイルやフォントの変更が可能というだけで、そうしなければいけないわけではありません。専門的な地図におけるスタイル、フォントやサイズの変更は最小限にすべきです。WYSIWYG (What You See Is What You Get) テキストエディタはレイアウトのテキストレイヤやマルチオブジェクト凡例において利用可能です。クエリエディタのようなレイアウトではないテキストには使えません。



〈テキストレイヤコントロール〉ウィンドウでは書式設定コードが入力されていない状態でテキストを表示します。タブ位置のようなWYSIWYG要素の無い書式設定コードを入力した場合は、書式設定コードを表示すると便利です。

